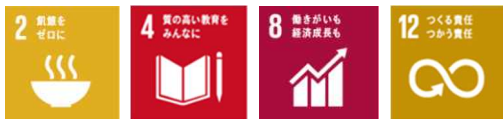


普及現地情報



発信年月日:令和6年(2024年)12月11日
所属名:大津・南部農産普及課
番号:A24013
発信者名:河村、土井

指導農業士会大津・湖南支部先進地研修を開催しました

当課が事務局を担当している指導農業士会大津・湖南支部は、令和6年11月27日に「(有)かみなか農楽舎」(福井市若狭町)の、技術習得から就農・定住までの体系的な支援体制について先進地研修を実施しました。当日は、事務局を含め12名の参加があり、講師を交えての活発な意見交換が行われるなど有意義な研修会となりました。

農業従事者の高齢化が進むなか、今後の地域農業の維持発展には後継者確保が大変重要です。今回、行政、地元が一体となり地域の担い手確保を目的に設立された「(有)かみなか農楽舎」の技術習得支援、就農定住支援等の取組事例について視察研修を行いました。

代表の八代恵里氏は、研修終了生から社員となり現在取締役を務めておられます。「(有)かみなか農楽舎」が、行政と集落住民、民間企業がタッグを組み、どのように若者を呼び寄せ地元に着させているかを説明いただきました。

氏の情熱のこもった話を研修に参加された指導農業士の皆さんは熱心に聞き入っておられ、多くの質問も出るなど就農支援対策について大変参考となる内容でした。獣害の発生も多い地域でありながら、地元で若手農業者が定着できるよう活発に活動をされており、最後におっしゃった「人材育成に必要なものは愛」という言葉には皆で感銘を受けました。